

ちからこぶ

福祉通信「ちからこぶ」2018年3月号 沓野組湯ノ原まちづくりの会員 書



いきいきサロンの集い

2月4日(日)、町内のいきいきサロン(お茶のみ会等)の運営者が集まり研修・情報交換会を開催しました。

研修では、これからの地域福祉の方向性や、いきいきサロンの役割について山崎博之様(長野県社協)にお話をいただきました。

情報交換会は、グループに分かれて各サロンの様子や運営の悩み、盛り上がる活動等を話し合いました。「古いネクタイを使ったおしゃれネックレスはどうやってつくるの?」、「関心を持つ病気や薬の事を話してもらえる人は誰?」と活発な意見交換がされていました。



～参加者の感想(一部)～

- ・講話を聴いて、サロンの重要さを再確認したこと、考え方の不足分(箇所)が理解できて良かったです。
- ・地域共生社会、地域で孤立しないように参加したり、できる事をやっていきたいです。
- ・どこの会も工夫して長く継続していくように努力をしている。参加者が積極的に関わられるような体操等を取り入れていきたい。
- ・サロンを立ち上げる際の参考意見が聴けて良かった。

この人に注目

沓野組湯ノ原まちづくりの会員

今月の表題を書いてくださったのは、いきいきサロンの集いに参加されたまちづくりの会員の方です。組内の河川敷の整備(花壇づくりや除草作業等)、敬老の日には育てた花を花束にラッピングをして組内の対象者へ贈呈、そして“湯ノ原ふれあい教室”(いきいきサロン)への協力と幅広く活躍をされています。

『“花づくり”美化事業』の会では、「角間川河川敷の花づくりは、時期になると色あざやかな花が咲き、作業の成果を感じています。花作り作業後のメンバーとの交流も楽しみです。」と話してくださいました。

ふれあい教室では、12月に組内の子どもと大人で“餅つき”を行いました。子どもたちが嬉しそうに杵を持つ姿を見て、昔ながらの行事を大切にしていきたいと思ったようです。

『「固定された人たちだけで見守るのではなく、組内全員で見守ろうよ。」との思いで活動をする“まちづくりの会”だからこそ、私たちも“できる範囲”で手伝っていこうと思います。』と心強い言葉をいただきました。



News

みんな元気!!いきいきサロン!! 2/15

◆星川お元気会◆



年6回(第3木曜日)開催のいきいきサロン団体です。参加者15名が運動をした後、ゲーゴルゲームの輪投げに挑戦しました。声援や拍手、笑い声がよく聞こえ、大いに盛り上がりました。点数の高い方から参加賞を選び、「この次やる時はもっと頑張ろう」という声も聞かれました。



◆いちご会◆



毎月15日開催のいきいきサロン団体です。今回は、ボーリングを楽しみました。1人2投の挑戦をして合計点を競いました。ピンが倒れる爽快感と、思った所へ玉が転がらない落胆の気持ちと両方があり、大いに盛り上がりました。

茶話会では「いちご会があるから張り合いが出る。個人宅へ出かける事は気が引けるが、公会堂なら気軽に出来る事ができる。『行くところがある』って大切だ。」「億劫な時もあるが、毎回の茶話会が楽しみだから『ずく』を出せる。」といった声が挙がっていました。



◆◆◆いきいきサロンを始めませんか??

当会では、地域福祉活動の一環として「いきいきサロン」を推進しています。社協への登録は、助成金等の関係から年間4回以上の活動ができる団体です。すでに活動をしている団体でも登録できます。検討を考えている方の相談も随時受け付けております。お気軽にご相談ください。

「身近な場所で」、「自分たち自身で」、福祉活動について一緒に考えていきましょう。

【問合せ先】 つつみ住民活動センター(山ノ内町社会福祉協議会)

電話:33-2810 有線:4280

◆◆◆「美わしの志賀高原」体操をご活用ください。

子どもから高齢者まで、年代に合わせた体操ができます。町内各地、どこへでも体操の指導に伺います。また、体操の指導冊子やCDもご用意しております。地域の健康教室等でご活用ください。

【問合せ先】 つつみ住民活動センター(山ノ内町社会福祉協議会)

電話:33-2810 有線:4280

★ほのぼのランチ意見交換会★



2月15日、配食ボランティア「ほのぼのグループ」の皆さんが集まり、町の健康福祉課長と社協会長が出席され、意見交換会を開催しました。ボランティアの方達が作ったお弁当を食べながら、グループに対して感じていることや町への希望など、気軽に話すことができました。

藤沢課長からは「利用者の安否確認や健康維持につながる活動なのでこれからも継続してほしい」とお言葉を頂きました。またメンバーからは「衛生面を考えて調理室専用のモップを手配してほしい」「調理室に椅子があるとちょっとしたときに休めるので検討してほしい」などの意見が挙がりました。



Information

〇●〇買い物支援『わくわく商店街』開催日のお知らせ〇●〇

町内の商店が集まりミニスーパー『わくわく商店街』を開催中！

- ◆開催日 毎月第2・4水曜日
- ◆時間 午前10時～午後12時
- ◆場所 つつみ住民活動センター
- ◆出店内容 生鮮食料品、製菓、日用品、衣料品等
- ◆問い合わせ 町社会福祉協議会 電話:33-1105 有線:2038
町商工会 電話:33-5666 有線:2052

大勢の方のご来店を
お待ちしております！



<平成30年度>

開催月	①	②
4月	11	25
5月	9	23
6月	13	27
7月	11	25
8月	8	22
9月	12	26

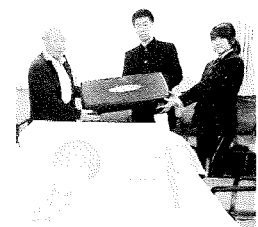
開催月	①	②
10月	10	24
11月	14	28
12月	12	26
H31年1月	9	23
2月	13	27
3月	13	27



アルミ缶収集・換金で寄贈

山ノ内中学校ふれあい委員会（委員長：飯沼亮太さん 副委員長：湯本響さん 宮下暢子教諭）では、委員会の活動の一環として、全校参加率100%を目標に平成29年1月からアルミ缶収集を行いました。正副委員長の毎回、早朝からの取り組みに全校生徒が賛同し、総量500kgもの収集が実現しました。

換金したお金によりこの度、予防型サービスの和（なごみ）デイに運動機能維持向上のためにと寄贈いただきました。



- ★昇降踏み台3台
- ★スポーツ吹き矢1式

ご理解ご協力ありがとうございました 《平成29年度 赤い羽根共同募金》

戸別募金	1,838,796円
街頭募金	35,415円
合計	1,874,211円

（平成30年1月20日現在）



はじめまして
ぞ（あい）ちゃんと
希望（きぼう）くんです。

住民の皆様からいただいたご意見に解答させていただきたいと思えます。

Q. 募金なので目標額はいらぬのではないかと？

Q. は意見 A. は答え

A. 共同募金は寄付金が集まってから使い道を決める募金ではなく、あらかじめさまざまな団体に申請を呼びかけ、どのくらい使い、どのくらい助成をするか計画を立てた上で募金活動を行うため、目標額があります。

Q. 赤い羽根を配るのは経費の無駄ではないかと？

A. 寄付した人に渡される赤く染められた小さな羽根。赤い羽根は「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」のシンボルです。昭和23年から街頭募金の寄付済証としてくばられるようになり、全国で現在も続けられています。

～社協の予定～

3月	8	木	・ほのほのランチ ・ひだまり亭(新湯田中) 14:00～	
	9	金	・脳元気教室	
	10	土	障がい者レクリエーション交流会 (サンアップル)	
	11	日		
	12	月	日赤専任委員会(19:00～)	
	13	火	・結婚相談所 ・脳元気教室	
	14	水	・わくわく商店街	
	15	木	・ほのほのランチ	
	16	金	・脳元気教室	
	17	土	町遺族会理事会(10:00～)	
	18	日		
	19	月		
	20	火	・結婚相談所 ・脳元気教室 ・手芸教室(福祉センター)	
	21	水	【春分の日】 デイサービス等営業	
	22	木	・ほのほのランチ ・PM社協理事会	
	23	金	・脳元気教室	
	24	土	ランドセル収集活動 時間: 10時～12時 場所: つつみ住民活動センター	
	25	日	つばさの会	
	26	月	・PM社協評議員会	
	27	火	・結婚相談所 ・脳元気教室	
	28	水	・わくわく商店街	
	29	木	・ほのほのランチ	
	30	金		
	31	土		
	4月	1	日	
		2	月	
		3	火	・結婚相談所
		4	水	封筒づくりボランティア (つつみ住民活動センター)
		5	木	・ほのほのランチ
		6	金	・脳元気教室
		7	土	
8		日		
9		月		

◆◆◆ボランティア活動保険◆◆◆

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償します。安心した活動をしていただく為に、ボランティア活動を始める前に加入をお願いします。

【年間保険料(掛け金)】

基本タイプ	A 350円	B 510円
天災タイプ	天災A 500円	天災B 710円

加入・更新の手続き・お問い合わせは社会福祉協議会までご連絡下さい。

TAKEZOUの4コマ漫画

～生活に笑いをお届けします～

45歳で挑んだ今回のオリンピックを
結果は残念でしたが、ここで
4年後を目指しているようです。

日本は史上最多の13個の
メダルを獲得しました。

①
②
③
④

45歳で挑んだ今回のオリンピックを
結果は残念でしたが、ここで
4年後を目指しているようです。

私個人はメダル選手ではなく
葛西選手に拍手を贈りたいです。

よしよし
でもガンバル
まじに
レジェンド!

マラソンに
出るぞ!!

レジェンド

レジェンド

レジェンド

レジェンド

得真後記

ピオンチャンオリンピックが開催され、長野県出身の選手が大活躍しており、毎日ハラハラドキドキしながらテレビを見ていた。

1998年長野オリンピックの際は、地元志賀高原や上林でも競技が行われ、何度か応援に行った。小学校のスキー部に入っていた子どもは、参加国の旗を持って競技前のフラッグセレモニーに参加できた。今思うとあのオリンピックを生で見れたと思うと、改めて感動する。長野オリンピックの後に生まれた子が、選手として活躍していること、オリンピック以降もずっと競技を続けている選手がいることも驚きだ。(k)

社 是 安全・尊厳・満足 =地域住民のみならずと共に歩む社協=

- 福祉通信ちからこぶ 平成30年3月8日発行
- 発行者 社会福祉法人山ノ内町社会福祉協議会
- 〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏3371-2(山ノ内町地域福祉センター内)
- TEL 0269-33-1105 FAX0269-33-8413
- URL <http://www.honobono-shakyo.or.jp>
- E-mail info@honobono-shakyo.or.jp ●印刷 山ノ内町社会福祉協議会